

七尾市の立地環境

7つのPOINT!

POINT 1 数字から見る七尾市の特徴

七尾市 DATA 【人口】55,325人 【面積】318.32km² 【位置】東経136° 北緯37° 【平均気温】14.2℃
 【年間降水量】1,978mm 【事業所数】3,661事業所 【従業員数】26,163人 【製造品出荷額等】538.54億円
 【製造品出荷額業種と構成比】1位:食料31.0%/2位:木材16.4%/3位:繊維 10.8%

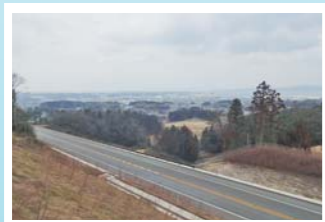
POINT 2 便利な高速交通ネットワーク

「つながる・変わる」三大都市圏へのアクセス

能越自動車道

平成26年度に七尾ICが供用し、中京方面へのアクセスが便利。

名古屋～七尾間(時間短縮効果)
 約4時間 → 約3時間30分



能越自動車道

のと里山海道

平成25年3月 無料化

金沢市と能登半島を結ぶ大動脈「日本の道100選」

北陸新幹線

平成27年 3月より開業中!

圧倒的な輸送力と安全性により、大幅な需要増が予測されます。

東京～金沢間(時間短縮効果)

約3時間50分 → 約2時間30分

のと里山空港

平成15.7 開港 高い就航率

小松空港と合わせ、1県2空港で観光に、ビジネスに、最適です。

羽田 ↔ 能登
 1日2往復就航中

POINT 3 発展し続ける重要港湾「七尾港」

日本海側のエネルギーと木材流通の拠点

天然の良港「七尾港」は、能登島を天然の防波堤とし、年間を通して静穏なため、安全な入港、安定した荷役が可能です。

- 1 日本最大級の国家石油ガス備蓄基地5基(合計25万t)、七尾大田火力発電所2基(合計120万kw)が立地
- 2 七尾港国際物流ターミナル(水深・13m)を整備中、大型船舶にも対応
- 3 真心込めたスピーディな荷役サービスを提供
- 4 日本海側有数の造船業が集積

POINT 4 世界が認めた豊かな自然環境

世界農業遺産認定「能登の里山里海」

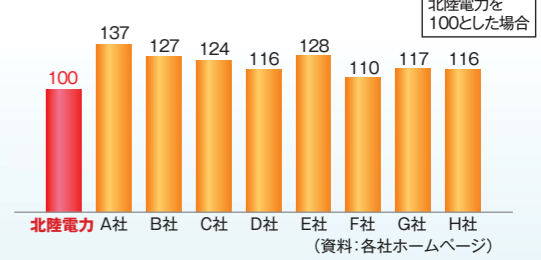
平成23年6月11日、「能登の里山里海」が世界で9番目、先進国では初めて世界農業遺産に認定されました。



POINT 5 安心・安全な生活環境

安定した電力供給

●電力各社の産業用電気料金(平成28年4月現在)(稼働率30%)



地震のリスクが小さい

充実した医療・介護体制

POINT 6 豊富な人材力

恵まれた教育環境に 県内外から多くの学生が集う

●能登地域の高等学校の設置状況

学校数	(公立)13校 (私立)2校
定員数	2,000人(公私立含む)
多様な設置学科	農業、水産、工業、商業、情報、看護、調理、航空など

(平成29年度 募集要綱より)

●県内の大学等の設置状況

区分	学校数
大学	12校
短期大学	5校
高等専門学校	2校

●高等教育機関の数(19校) 全国2位(人口10万人当たり)
 ●高等教育機関の学生数 全国3位(人口千人当たり)
 (平成26年度学校基本調査より人口当たりの比較)

POINT 7 おもてなしの支援体制

手厚い優遇制度とオーダーメイド型工場適地

誘致企業に対する優遇制度

